

# 砺波市における乳幼児保健指導

——新生児訪問指導を中心に——

荒尾 行雄 富山県公衆衛生課  
中田 慶子 富山県福野保健所  
中島和之進 砺波市保健衛生課  
藤沢まゆみ 〃 〃  
高野 陽 国立公衆衛生院

## 1. はじめに

本年度は、より効果ある新生児訪問指導を行うため、指導内容の充実、指導情報の強化を図ることを目的に、新生児訪問指導内容に関するアンケート調査・新生児訪問指導票の改正・新生児訪問指導のてびきの作成について検討を行った。

## 2. 新生児訪問指導内容に関するアンケート

新生児訪問指導の内容を母親のニーズにあったものにするため、指導を受けた項目と母親が指導を希望する項目について調査した。

内容は、図1のとおりである。

調査方法は、2か月児健診（調査時期60年8月～10月）において、新生児期に訪問指導をうけた児の母親66人を対象にしたアンケート調査（自記式）である。

調査結果を指導項目と希望項目にわけると、指導項目として多いのは、「腹バイについて」65.2%、「発育、発達について」48.5%、「水分補給について」42.4%、「日光浴、外気浴のすゝめ」39.4%等である。

希望項目としては、「発育、発達について」59.1%が非常に多く、次に、「産後のからだの回復」28.8%、「母乳がよく出る方法」27.3%、「病気の予防」27.3%等が多くなっている。

傾向としては、「発育、発達」の確認は、新生児訪問指導の大きな目的であり、母親もそれを保健婦、助産婦等に確認してもらうことを望んでいることから双方ともに高率となっていると考えられる。

また、指導項目が「腹バイ」「日光浴・外気浴」など、積極的な育児に関するものが高率になっているが、希望項目は、「産後のからだの

回復」や「母乳がよく出る方法」「病気の予防」等で、指導項目と希望項目に差がみられる。

このことから、積極的な育児に関する指導はかなり高率に行なわれているにもかかわらず、新生児期に必要なこととして受けとめられていなかったと考えられる。

指導項目として少ない「寝具」「お風呂の入れ方」「産後の日常生活」等養育や日常生活に関することについては、家族等周囲の経験者により援助を受けたり、母親が、自分の判断で行動できることから希望が少なくなっているとみられる。

以上のことから、望ましい指導内容は、母親のニーズにあった指導で、且つ、新生児期にぜひ指導しておかなければならない指導内容で、今後充実していかなければならない項目は、母親の希望が高く指導の割合が低かった「病気の予防」「母乳がよく出る方法」と指導されているが、母親の認識が不足している「腹バイ」「日光浴・外気浴」など健康増進に関することがあげられる。

さらに、今後は、単に技術的指導だけでなく必要性を十分に説明し、実践につなぐことのできるような指導を行なう必要があり、後述の訪問指導のてびきに内容をもり込んだ。

## 3. 新生児訪問指導票の検討

従来の新生児訪問指導票は、必要なチェック項目が少く、十分記録されていないこと、助産婦の高齢化等に伴い、記録内容にバラツキがみられる等、改善の必要があり検討を行った。

新生児訪問指導票を検討するにあたり、次の1～5までを改善のポイントとした。

1) 新生児期に把握しておかねばならない項目

をもち込む。

- 2) 訪問時、新生児を観察して指導しながら記録できるよう配慮する。
- 3) 次の訪問や保健指導に生かせる項目をもちこむ。
- 4) 母親の養育指導の際に、新生児のみならず産婦の状況や家庭環境など把握できるもの。
- 5) 母子相互作用に関する内容をもち込む。

以上、新生児訪問指導の状況を記録から読みとれるよう配慮した。

指導票の検討は、従来の指導票の問題点と改善した指導票を比較し、改正した指導票は様式1のとおりである。

- 1) 出生時、退院時の状況、訪問時の観察点で頭部変形、機嫌、啼泣等の記入項目がないものを追加した。
- 2) 母親の育児不安や問題とすることが把握でき、具体的な指導をしやすくするために養育上気になる事柄の項目を入れた。
- 3) 就労婦人が約70%と高いことから、職業就業予定時期の項目を追加した。
- 4) 母親欄に乳汁分泌、乳房の状況項目を追加した。
- 5) 母親と子の治療内容、医療機関名を追加した。
- 6) 家族欄に「家族協力」の項目を追加した。

#### 4. 新生児訪問指導結果の活用

乳幼児の健康管理をするうえで出生前後の健康情報は非常に重要である。新生児訪問は、分娩から早期新生児の健康情報を把握する最も早く、且つ、有効な方法であり、また、母親や家族の養育態度に直接ふれることができ、訪問結果は、乳児の健康情報として、十分活用の意義がある。前述のとおり、訪問指導票には、これらの情報が把握できる項目や継続指導のための治療状況もとり入れた。

特に砺波市は、妊婦健康情報のシステム化に取り組んでおり（厚生省心身障害研究班昭56～58）、妊娠中の健康情報は、母子保健指導票（妊娠から幼児期までの健診結果や相談等を記入）や台帳に記入し、整理している。

しかし、妊娠から分娩、乳幼児に至る一貫し

た健康情報を保健指導に活用するためには、これまで記入が不十分であった新生児訪問指導結果を改善した訪問指導票から母子保健指導票と台帳に転記し、2か月児健診時に活用することとした。

さらに、訪問指導の結果、医師連絡が必要なものについては、医療機関と連携し、継続指導を実施するよう申し合せた。

#### 5. 新生児訪問指導のてびきの作成

助産婦・保健婦が訪問指導する際に、指導技術のレベルにバラツキをなくするために、てびきを作成しその目標をつぎの1～7とした。

- 1) 新生児の発育・発達、疾病の有無を観察し、健康状態の把握と適切な指導を行う。
- 2) 新生児の疾病を予防し、発育・発達を促すよう積極的な育児指導を行う。
- 3) 母乳育児を積極的にすすめる。
- 4) 母体の順調な回復と家族計画の指導をする。
- 5) 母子相互作用についての理解を深める。
- 6) 育児方法、養育環境を把握し、養育上の問題の解決を図る。
- 7) 母親の新生児に関する理解を深め、育児不安の軽減に努め、育児に自信がもてるよう指導する。

項目設定は、新生児訪問指導票の内容に添うようにした。

内容は、図2の通りである。

その他、対象の把握方法、訪問優先度、訪問時期、回数等もとり入れた。

#### 6. おわりに

本年度の研究課題である新生児訪問指導票の改正は、新生児期に必要な情報を適格に記録できるよう改善した。

また、新生児訪問指導のてびきは、訪問指導について、分娩施設の医師、保健所、市町村保健婦、開業助産婦等相互に連携を図り、指導内容を充実することをねらいに作成した。今後研究結果を生かし、効果的な訪問指導が実施されるよう継続検討し、乳幼児保健指導のシステム化につなきたい。

図1 新生児訪問指導内容に関するアンケート調査

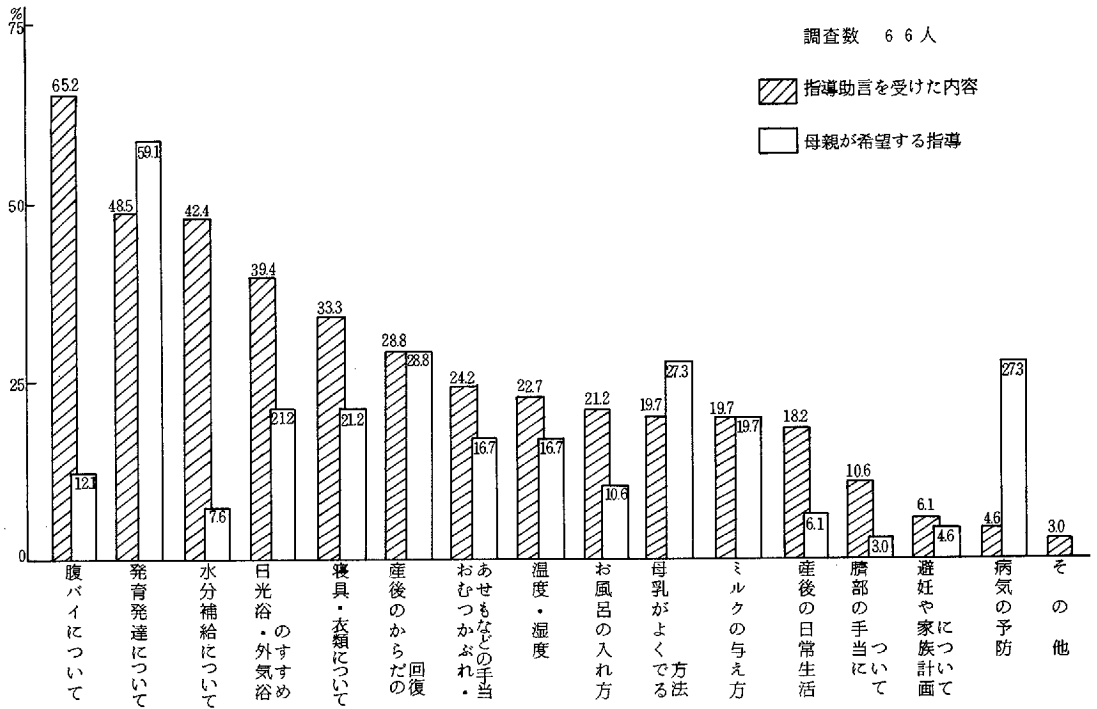
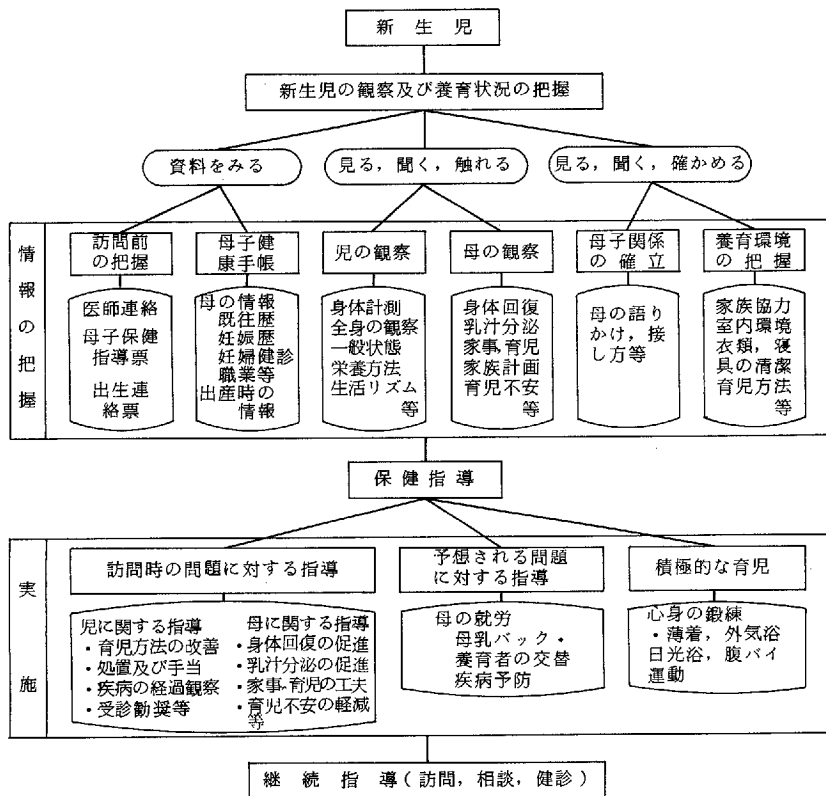


図2 新生児訪問指導のてびき



様式 1

新生児訪問指導票

子の氏名		男・(第 子) 女	
年月日生		年月日生	
保護者名	母	年月日生 ( 歳 )	職業
	父	年月日生 ( 歳 )	職業
居住地	住所	( 町 )	
	訪問先	( 方 )	

訪問指導従事者	住所	市	町	番地
	氏名			

指導確認印	一回目	二回目

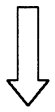
新生児	出生場所				
	出生時	体重	g	在胎週数	週
		身長	cm	出生時の状況	正常・異常 (仮死・保育器 印) O <sub>2</sub> 吸入 黄疸、光線療法 印) 他
		胸囲	cm		
頭囲		cm			
退院時	満	日	体重	g	
	栄養法	母乳・混合・人工			
	ひきつづき観察を要する事項				
母親	妊娠中の状況		正常・異常 (貧血・悪阻・切迫流早産・ 妊娠中毒症・他)		
	分娩時の状況	経過	頭位・骨盤位・他 ( )		
		娩出法	自然・帝王切開・吸引・鉗子・他 ( )		
		所要時間	時間	出血量	少量・中量・多量 ( ml )
家族	退院時	ひきつづき観察を要する事項			
	健康状況	父 ( 健・否 ) 同胞 人 ( 健 人, 否 人 ) 祖父 ( 健・否 ), 祖母 ( 健・否 ) その他の家族 ( 健 人, 否 人 )			
	家族協力				
備考					

1 回目訪問		年 月 日 ( 生後 日目 )	
新生児	計	体重	g ( 1 日増加量 g )
	測	胸囲	cm 頭囲 cm 体温 °C
	開排制限	無・有 ( ) 頭部變形 無・有 ( ) 筋緊張 無・有 ( )	
	啼泣	強・弱 ( ) 機嫌 良・悪 ( )	
	皮膚	黄疸 無・有 ( ), 皮膚の色 ( ) 異常 無・有 ( ) 部位 ( )	
	臍部	乾燥・湿潤・他 ( )	
	便	回数 正常・異常 ( )	
	哺乳状況	母乳 回/日, 人工 回/日 哺乳力 強・弱 ( ), 吐乳 強・弱 ( )	
	養育状況	おむつの当て方 { 適・否 } 寝具 { 適・否 ( ) } 室温 { 適・否 } 清潔 { 適・否 ( ) } 衣服 { 適・否 } その他 ( )	
	母親	現在の状況	正常・異常 ( ) 子宮復古状況 ( ) 悪露の状況 ( ) 他 ( )
乳汁分泌		良・不良 ( ) 乳房の異常 無・有 ( ) 乳腺炎、乳頭亀裂、その他	
養育態度		問題なし・あり ( )	
就業予定	月 日 ( 産後 週目 )		
治療状況	有・無	治療内容	児 母 医療機関 児 母
養育上の留意点	( 身体・養育・母の訴え等 )		
指導事項			

2 回目訪問		年 月 日 ( 生後 日目 )	
新生児	計	体重	g ( 1 日増加量 g )
	測	胸囲	cm 頭囲 cm 体温 °C
	開排制限	無・有 ( ) 頭部變形 無・有 ( ) 筋緊張 無・有 ( )	
	啼泣	強・弱 ( ) 機嫌 良・悪 ( )	
	皮膚	黄疸 無・有 ( ), 皮膚の色 ( ) 異常 無・有 ( ) 部位 ( )	
	臍部	乾燥・湿潤・他 ( )	
	便	回数 正常・異常 ( )	
	哺乳状況	母乳 回/日, 人工 回/日 哺乳力 強・弱 ( ), 吐乳 強・弱 ( )	
	養育状況	おむつの当て方 { 適・否 } 寝具 { 適・否 ( ) } 室温 { 適・否 } 清潔 { 適・否 ( ) } 衣服 { 適・否 } その他 ( )	
	母親	現在の状況	正常・異常 ( )
乳汁分泌		良・不良 ( ) 乳房の異常 無・有 ( ) 乳腺炎、乳頭亀裂、その他	
養育態度		問題なし・あり ( )	
治療状況	有・無	治療内容	児 母 医療機関 児 母
養育上の留意点	( 身体・養育・母の訴え等 )		
指導事項			



**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



#### 1.はじめに

本年度は、より効果ある新生児訪問指導を行うため、指導内容の充実、指導情報の強化を図ることを目的に、新生児訪問指導内容に関するアンケート調査・新生児訪問指導票の改正・新生児訪問指導のてびきの作成について検討を行った。